

本号は、腸管感染症に関する知識を整理し最近のトピックスを知ることを目的として企画された。その際、ここ数年のトレンドである腸内細菌叢やメタゲノムといった見地からではなく、臨床症状を惹起する腸管感染症の臨床像を中心にまとめた特集とした。なかでも、鈴木論文では腸管感染症のトレンドがわかりやすく解説されており、原因としてはウイルスと細菌感染症が多く、とくに後者では季節性があることが示されている。さらに、清水論文と藤原論文では、内視鏡像や組織所見から病原体が推測できることが示されており、大腸内視鏡医にとっても必須の知識といえよう。一方、腸管感染症とともに虚血性腸病変や薬剤起因性消化管障害も急性かつ self-limiting な腸管障害を惹起するが、それらの鑑別のコツが浦岡論文で示されている。各論としては、本邦では未だ一定の発症者数が存在する結核菌感染症、アメーバ以外の原虫・寄生虫感染症など、忘れてはならない感染症の特徴が詳細に解説されている。加えて、比較的発症率の高い感染症についても詳細に記載されている。すなわち、本号を一読いただければ一般的感染症とまれな感染症を対比しながら知識を深めることができる。とくに、小児における腸管ウイルス感染については、その現状に加えて注意すべき徴候が述べられており臨床にきわめて重要な情報と思われる。

実臨床では、腸管感染症は呼吸器感染症とともにきわめて頻度の高い疾患である。しかし、その大部分は自然軽快するため安易に診療されることが少なくない。このような患者のなかに重篤な合併症や持続性の経過をとる症例が存在し、炎症性腸疾患と誤診される場合がある。本号を熟読いただき、日常診療における腸管感染症の位置付けを再確認いただければ幸いである。

松本 主之  
(岩手医科大学内科学講座消化器内科消化管分野)

## INTESTINE

Vol.23 No.2

©2019 年 3 月 20 日発行

定価(本体 3,200 円 + 税)

●年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

・ Published by Nihon Medical Center Inc.

© 2019, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

編集 『INTESTINE』編集委員会

発行人 増永 和也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64(協和ビル)

営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377

e-mail intestine@nmckk.co.jp

印刷所 シナノ印刷株式会社

広告申込所/株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 (03) 3814-8541